

1. 質疑内容と事務局の考え

➤ 本資料は、前回協議会(第19回地域公共交通協議会:令和7年(2025年)6月30日開催)にいただいたご質問に対する事務局の考えを整理したものです。

質疑概要	事務局の考え	参考等												
・豊中市乗合タクシー「Mina Notte」のコスト構造について。西部地域路線と南部地域路線での固定費の違いはあるのか。	・乗用タクシー事業者と「1 運行あたりの単価」で契約しており、固定費は発生していない。 ・専用車両や乗務員を固定的に確保しているわけではなく、通常は市内で運行している一般タクシーが、予約が入ったときのみ豊中市乗合タクシー「Mina Notte」として運行する方式であり、運行した便のみ運行経費が発生する。													
・豊中市乗合タクシー「Mina Notte」における現在の運行経費を見て、他の交通モードとの費用対効果はどうか。他の交通モードや運行形態への転換の可能性はあるか。	・本市が導入する交通モードは、既存の鉄道や路線バスを補完する乗合交通を対象とし、複数人が乗り合わせる交通サービスとしている。 ・ドアツードア輸送のような、一般のタクシーに近い個別輸送は想定していない。 ・AI オンデマンド交通に代表されるような交通モードは、システム導入・ランニングに係る費用や運行管理費用が必要であり、利用者数や車両の稼働にかかわらず費用が発生し、全体的にコストが高くなる傾向にある。 ・今後、利用環境の変化等により、他の交通モードが効果的に既存の公共交通を補完できる場合には、費用構造を比較しつつ転換の可能性を検討する。	豊中市乗合タクシー「Mina Notte」の年間の運行経費は以下のとおりです。 <table><tr><th>路線・ルート</th><th>年間運行経費</th></tr><tr><td>西部地域北路線</td><td>約 800 万円/年</td></tr><tr><td>西部地域南路線</td><td>約 400 万円/年</td></tr><tr><td>南部地域東側ルート</td><td>約 400 万円/年</td></tr><tr><td>南部地域西側ルート</td><td>約 400 万円/年</td></tr><tr><td>合計</td><td>約 2,000 万円/年</td></tr></table> ※年間運行経費は令和 6 年度(2024 年度)実績 【参考】AI オンデマンドの運行経費例（国土交通省資料による） ・鳥取県鳥取市:イニシャルコスト約 1,800 万円 ランニングコスト約 3,360 万円/年 ※ランニングコストは、実証実験期間中の費用から 1 年間に換算している	路線・ルート	年間運行経費	西部地域北路線	約 800 万円/年	西部地域南路線	約 400 万円/年	南部地域東側ルート	約 400 万円/年	南部地域西側ルート	約 400 万円/年	合計	約 2,000 万円/年
路線・ルート	年間運行経費													
西部地域北路線	約 800 万円/年													
西部地域南路線	約 400 万円/年													
南部地域東側ルート	約 400 万円/年													
南部地域西側ルート	約 400 万円/年													
合計	約 2,000 万円/年													
・豊中市乗合タクシー「Mina Notte」等を市内で展開する際、隣接するエリア間や鉄道・路線バス等と乗継して、他のエリアへ移動できるように検討してほしい。	・豊中市乗合タクシー「Mina Notte」は、基本的に運行するエリアと最寄り鉄道駅を結ぶルートを設定し、鉄道との乗継は可能となっている。 ・隣接するエリア間や路線バス等との乗継についても、一部可能となっているが、今後も乗継利便性の向上については、地域のニーズ等を踏まえながら、検討を進める。	・南部地域路線では、東側ルートから西側ルートへ連続した移動ができるダイヤ設定をしている。												
・豊中市乗合タクシー「Mina Notte」の認知率向上を図るために、経路検索サイト等への検索結果に反映できるように GTFS(General Transit Feed Specification)の活用としてはどうか。	・GTFS はもともと定時定路線向けの仕様であり、予約制、ゾーン乗降、時刻指定制など、デマンド交通(予約制乗合タクシーやオンデマンド交通等)では、従来の GTFS では表現しづらい状況にあった。 ・令和 6 年(2024 年)3 月に正式採用された国際標準である GTFS-Flex は、デマンド交通にも対応可能な拡張仕様として期待されており、今後の導入検討に向け、国の動向を注視し、研究していくものとする。	・現時点では、多くの乗換案内サイト・アプリケーションや MaaS アプリケーションでは、GTFS-Flex による経路検索に対応していない状況にあり、今後の動向に注視していく必要がある。												